

報道関係各位

2016年10月17日
さくらインターネット株式会社
EverySense, Inc.

さくらインターネットとエブリセンス、IoT分野で協業 ～独立したIoTプラットフォーム間のデータエクステンション実現に向けて 検討開始～

自社運営のデータセンターでインターネットインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：田中 邦裕、以下さくらインターネット）と、IoTデータ流通マーケットプレイスを運営するEverySense, Inc.（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ市、CEO 真野 浩、以下エブリセンス）は、この度、さくらインターネットが開発中の、モノとネットワークでデータを送受信するための通信環境、データの保存や処理・売買に必要なシステムを一体で提供するIoTプラットフォーム「さくらのIoT Platform」と、エブリセンスのデータエクステンションプラットフォームの接続により、IoTデータの相互利用メカニズムの検討を開始しました。

<検討の背景について>

IoTデバイスの普及とプラットフォームサービスの登場により、多くの分野でIoTによる新しい産業創出が行われつつあります。しかしながら、現在のIoTデバイスおよびIoTデータの活用は、製造、物流、ヘルスケアなど、それぞれの産業分野の中で限定的となっています。そこで、これら業種、業界を超えたIoTデータの相互接続、交換が実現することで、柔軟で豊富な情報サービスが実現されるものと期待されます。

本提携では、さくらインターネットの「さくらのIoT Platform」とエブリセンスの提供するデータエクステンションプラットフォームを相互接続することにより、独立したIoTプラットフォーム利用者同士が、相互にデータの提供を行うとともに、データ利用による価値の分配が実現されます。

<協業の意義と進め方について>

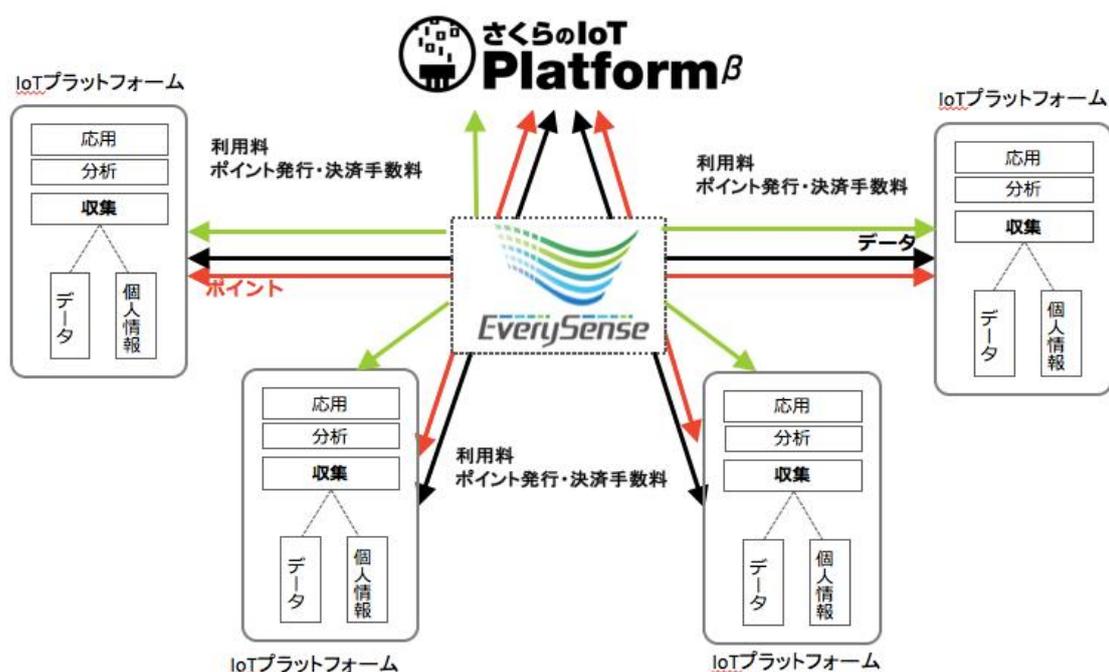
エブリセンスは、2014年よりIoT領域におけるデータ仲介事業者の先駆者として、データ流通経済創出にむけIoTマーケットプレイスの準備を進めており、この度、2016年10月より商用サービスを開始いたしました。

今回、さくらインターネットが開発中の「さくらのIoT Platform」と、エブリセンスのお客様との間でのデータ流通を相互接続し、より簡単かつ低コストでお客様のIoTデータの価値化、高付加価値サービスの実現をサポートします。

これにより、「さくらのIoT Platform」を利用しているお客様は、自らが展開するIoT機器の生み出すデータを「さくらのIoT Platform」外で他者に提供することによって、あらたな価値の獲得が可能となるほか、他のIoTプラットフォーム利用者からの提供データとの組み合わせによる高い付加価値サービスへの展開も可能となります。

今後、技術的、営業的な課題を解決するために検討を進め、2016年度末を目標にサービスの連携を進めてまいります。

【概念図】



■ さくらインターネット株式会社について

国内最大級のバックボーンを持つ自社運営のデータセンターで、インターネットインフラサービスを提供しています。日本におけるインターネットの草創期である1996年の創業以来、インターネット環境の変化とともにユーザーのニーズに応じた多様なサービスを開発し、ビジネスを支援しています。2016年度中に、モノとネットワークでデータを送受信するための通信環境、データの保存や処理・売買に必要なシステムを一体で提供するIoTのプラットフォーム「さくらのIoT Platform」を提供開始予定で、それに先駆け、11月から「さくらのIoT Platform B」を提供します。「さくらのIoT Platform B」は現在お申し込み受付中です。

会社名	さくらインターネット株式会社
代表者	代表取締役 社長 田中 邦裕
所在地	【本 社】大阪市中央区南本町1丁目8-14 堺筋本町ビル 9F 【東京支社】東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 33F
資本金	8億9,530万円
事業内容	大阪、東京、北海道の3都市に5つのデータセンターを展開し、インターネットインフラサービスを提供
URL	https://www.sakura.ad.jp/

■ EverySense, Inc.について

インターネットの進化で、異業種間をつなぐ新たなビジネスが生み出されています。これまでインターネットがほとんど活用されていなかった業種にインターネットを活用することで、大きな生産性を上げることが期待できるようになってきました。また、スマートフォン、スマート家電により「Internet of Everything インターネットですべてをつなぐ」(IoE)によって、これまで結び付のなかった「人」「モノ」「データ」「プロセス」がつながる新しい時代が展開されています。

ここで重要な鍵を握るのが、膨大で多種多様なデータの活用になってきます。データを誰がどのように活用するかで、新たな価値が創造され、新しい産業構造が生まれてきます。

エブリセンスは、今後特に市場拡大が期待される IoE、IoT や M2M (Machine to Machine) センサーネットワークに関連する基礎的な研究から、新規サービスの創出につながるセンサーデータ等のビッグデータ解析基盤技術の分野で新たな価値と構造を提供する企業として革新を起こしていきます。

会社名	EverySense, Inc.
代表者	CEO 真野 浩
所在地	【本 社】 111 N. Market St., Suite 300 San Jose, CA 95113 USA
資本金	1,160,000 USD
事業内容	・IoT 分野における無線ネットワークと電子機器に関する研究開発 ・センサーデバイスの研究開発およびセンサーデータ等のビッグデータ解析基盤技術の開発
URL	http://www.every-sense.com/

※ 本リリースに記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の登録商標または出願中の商標です。

※ プレスリリースに掲載されている内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合があります。

■ この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 広報担当

TEL : 03-5332-7072 E-mail : press-ml@sakura.ad.jp

エブリセンスジャパン株式会社 広報担当

TEL : 03-6890-0598 E-mail : info@every-sense.com